

AM Series Compact Mixer
AM502 / AM602FX / AM802FX

取扱説明書
Version 1.1



株式会社 サウンドハウス
〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3
TEL:0476(89)1111 FAX:0476(89)2222
<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

安全上の重要事項

安全標識



ユーザーに危険を警告しています。通常使用の状態でも製品内の電圧により、感電の危険性があります。



安全にご使用いただくためにマニュアルの指示に従ってください。



グラウンドターミナル



AC 電圧/電流



高電圧注意

1. 本マニュアルに記載されている全ての警告と指示に従ってください。
2. 本体を水の近くで使用しないでください。
3. 本体を水または液体の中に入れてください。
4. 本体に直接エアゾールスプレー、クリーナー、消毒剤や殺虫剤を使用しないでください。メンテナンスは乾いた布で拭いてください。
5. 本体の通気口をふさがないように設置してください。
6. 熱源（ラジエーター、ストーブ、アンプ）などの近くに設置しないでください。
7. 電源コードは踏まれたり、挟まれる事の無いようにしてください。

8. 電源コードを抜く際は、コードを引っ張らず、プラグ部分を持って引き抜くようにしてください。
9. 製品受領時、外部に損傷（電源コード等を含む）が無いか確認してください。もし製品にダメージがあった場合、ただちに販売店へ連絡してください。
10. アクセサリーやパーツは、メーカーが定めた物をご使用ください。
11. 長期間使用しない場合や、雷が発生した時は電源プラグを抜いてください。
12. 電源周りのトラブルや液体をこぼしてしまった時、高い湿度にさらされた時は、販売店に相談してください。そのまま使用を続けたり、自分で修理を試みないでください。
13. 日本国内のみでご使用ください。各地域の法律に従ってご使用ください。
14. 設置について疑問が生じた場合は、販売店に相談してください。

メンテナンスと修理

本製品は最新の電子技術と素材を使用しているため、それに応じたメンテナンスと修理を行う必要があります。機材へのダメージ、使用者へのケガを防ぐためにメンテナンス / 修理は購入した販売店に依頼してください。

目次

安全上の重要事項.....	2
安全標識.....	2
メンテナンスと修理.....	3
はじめに.....	5
主な特徴.....	5
仕様.....	6
AM502.....	8
AM602FX.....	9
AM802FX.....	10
モノラル入力チャンネル.....	11
EQ.....	12
FX センド (AM602FX/AM802) パン・レベル調整.....	13
ステレオチャンネル.....	14
FX センド、バランス、レベル調整.....	15
コネクターパネル、メインセクション.....	16
FX センド、リターン (AM602FX/AM802FX).....	16
MONITOR OUT (TS フォン).....	16
MAIN OUT (TS フォン).....	17
2-TR INPUT (RCA).....	18
エフェクト・プリセット.....	20
接続.....	21

はじめに

この度は AM シリーズ・アナログミキサーをご購入いただき、誠にありがとうございます。
AM シリーズは、最新のミキシングコンソール技術を使用した使いやすくコンパクトなミキサーです。ファンタム電源を供給可能なマイクプリアンプ、バランス LINE 入力、多彩なエフェクト（AM502 を除く）を搭載し、ライブやホームスタジオでの使用に最適なミキサーです。マイク入力チャンネルには、高性能プリアンプを搭載しており、高いサウンドクオリティ、広いダイナミックレンジ、単体のプリアンプと比較して遜色のないクオリティを実現しています。

主な特徴

- 広いヘッドルームと 130dB のダイナミックレンジ
- 周波数特性は 10Hz～20kHz。繊細なニュアンスをクリアに再現します。
- 低ノイズで歪みのない電子回路を採用し、自然でクリアーなサウンドを実現。
- 60dB ゲインを持つマイクプリアンプ。
- +48V ファンタム電源に対応し、ほとんどのマイクを使用可能

「ブリティッシュ EQ」

AM シリーズに使用されている EQ は、英国最上位機種に使われている、伝統的な回路をベースに開発されました。

注意

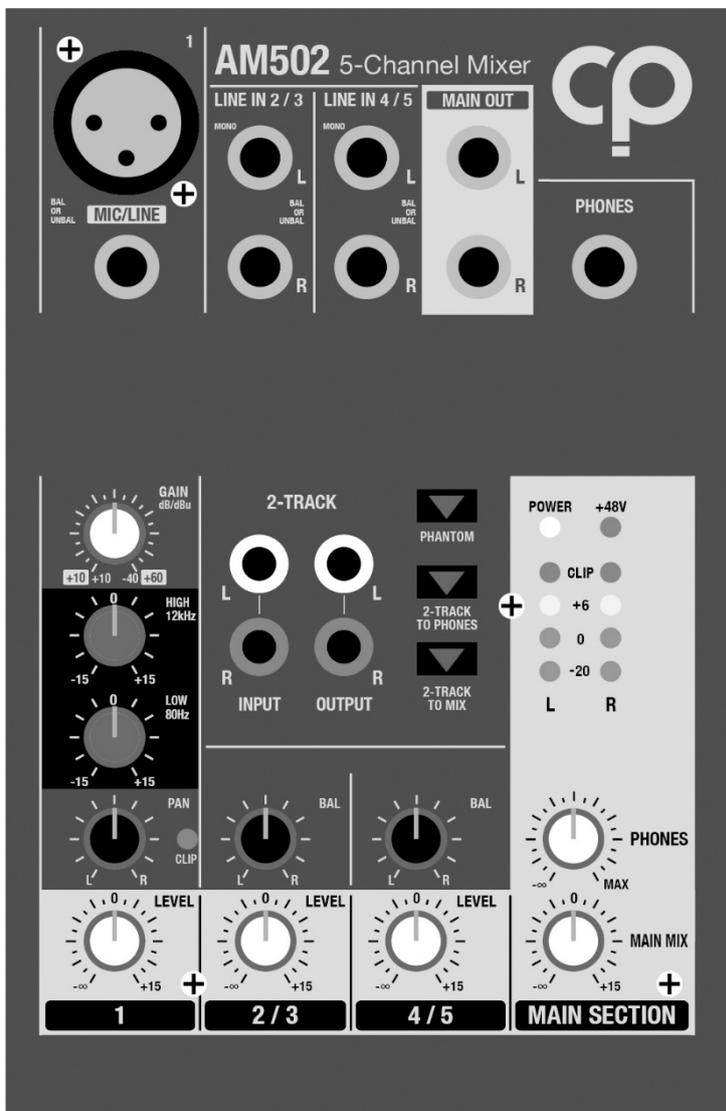
ボリュームを上げすぎると聴力に影響を与える可能性があります。また、ヘッドホンやスピーカーの故障の原因にもなります。電源を ON にする前に、MAIN MIX とヘッドホンのコントロール・レベルを最小まで下げてください。

仕様

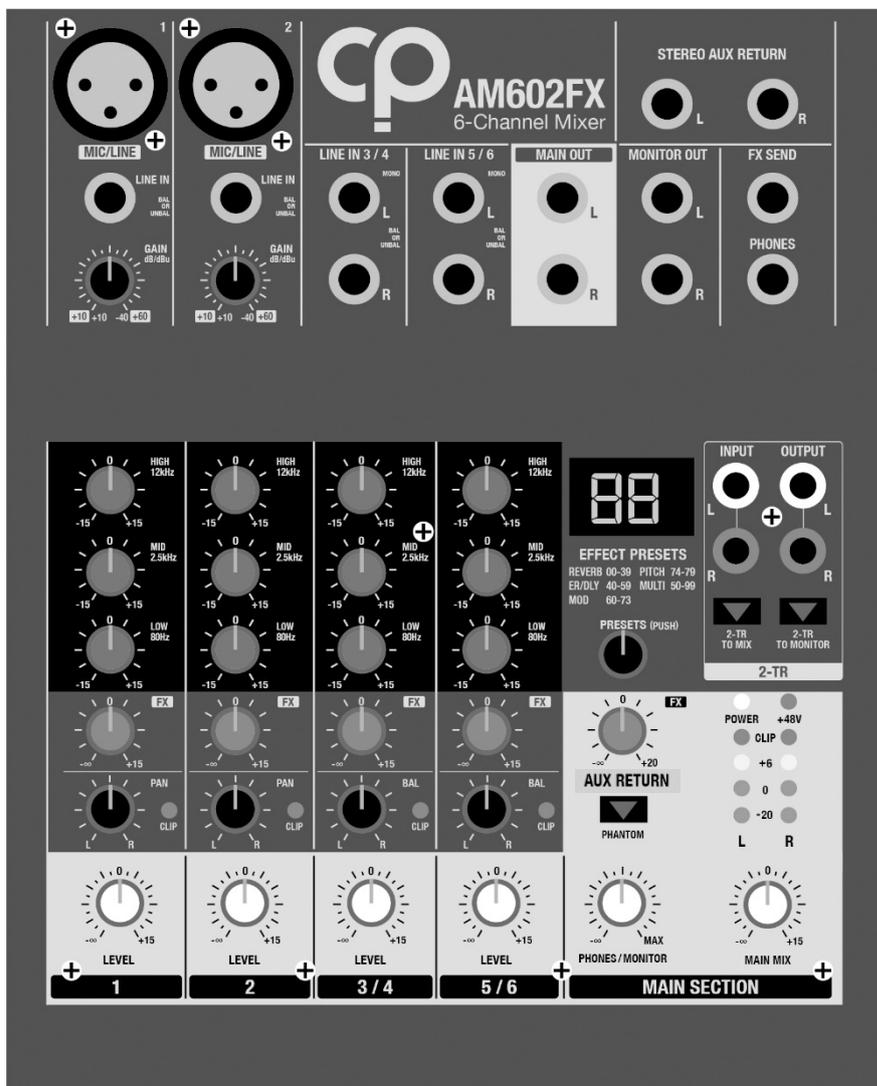
モデル	AM502	AM602FX	AM802FX
マイク入力 (XLR)	1 チャンネル	2 チャンネル	4 チャンネル
マイク E.I.N(20Hz – 20kHz)	-134dB / 135.7 dB A 特性@0Ω ソース抵抗 -131dB / 133.3 dB A 特性@50Ω ソース抵抗 -129dB / 130.5 dB A 特性@150Ω ソース抵抗		
周波数特性 (マイク-メイン出力)	<10Hz – 150kHz (-1dB) <10Hz – 200kHz (-3dB)		
入力ゲイン	+10～+60dB		
最大入力レベル	+12dBu@+10dB ゲイン		
入力インピーダンス	2.6kΩ(バランス)		
S/N 比	110dB/112dB A 特性 (0dBu 入力@+22dB ゲイン)		
歪み(THD+N)	0.005% / 0.004% A 特性		
LINE 入力(TRS フォン)	ステレオ 2 系統	ステレオ 2 系統	ステレオ 2 系統
入力インピーダンス	20Ω(バランス) 10kΩ(アンバランス)		
入力ゲイン	-10～+40dB		
最大入力レベル	+22dBu @0dB ゲイン		
クロストーク (1kHz rel. 0dBu 20Hz～20kHz)	メインフェーダー: 90dB チャンネルミュート: 89.5dB チャンネルフェーダー: 89dB		
周波数特性 マイク入力からメイン出力	<10Hz – 90kHz (+0dB / -1dB) <10Hz – 160kHz (+0dB / -3dB)		
ステレオ入力	TRS フォン		
入力インピーダンス	20kΩ		
最大入力レベル	+22dBu @0dB ゲイン		
EQ モノラルチャンネル			
Low	80Hz/±15dB		
Mid	2.5kHz/±15dB		
High	12kHz/±15dB		
EQ ステレオチャンネル			

Low	80Hz/±15dB		
Mid	2.5kHz/±15dB		
High	12kHz/±15dB		
FX センド インピーダンス 最大出力レベル	TS フォン 20kΩ +22dBu		
ステレオ FX リターン インピーダンス 最大入力レベル	TRS フォン 20kΩ(バランス)/10kΩ(アンバランス) +22dBu		
メイン出力 インピーダンス 最大出力レベル	XLR 240Ω(バランス)/120Ω(アンバランス) +28dBu		
コントロールルーム出力 インピーダンス 最大出力レベル	TS フォン 120Ω +22dBu		
ヘッドホン出力 最大出力レベル	TRS フォン +19dBu / 150Ω(+25dBu)		
メインミックスシステム データー			
ノイズ メインミックス@ $-\infty$ チャンネルフェーダー@ $-\infty$ メインミックス@0dB チャンネルフェーダー@ $-\infty$ メインミックス@0dB チャンネルフェーダー@ 0dB	-106dB/-109dB A 特性 -95dB/-98dB A 特性 -84dB/-87dB A 特性		
電源	AC100V、50/60 Hz		
消費電力	13W	15W	17W
サイズ (W×H×D)mm	125×48×195	190×53×240	242×53×240
質量 kg	0.65	1.25	1.50

AM502



AM602FX



AM802FX



モノラル入力チャンネル

MIC

マイク入力端子 (XLR) です。コンデンサーマイク用に+48V ファンタム電源の供給が可能。ハイクオリティな低歪み、低ノイズゲイン・プリアンプを搭載しています。

※注意 スピーカーから大きなノイズが出るのを防ぐため、ファンタム電源を ON にする前に出力をミュートしてください。

LINE IN

ライン入力用端子 (TRS フォン) です。アンバランス接続も可能です。

※注意 各入力チャンネルはマイクまたはライン、どちらか一方しか使用できません。

GAIN

入力ゲインを調整します。信号ケーブルを抜き挿しするときは必ず TRIM つまみを左いっぱいに戻し、ゲインを最低レベルにしてください。



EQ

モノラル入力チャンネルには3バンドEQが装備されています。各バンドに対して±15dBの範囲で調整することができます。つまみの中央の位置がフラットとなります。



HIGH（高域 12kHz）と LOW（低域 80Hz）はシェルビングフィルターです。MID（中域）はピーク周波数帯（2.5kHz）を調整します。

シェルビングフィルターは、ある周波数から上または下をまとめて持ち上げたり減衰させたりするフィルターです。目的の周波数より上を調整するものをハイシェルビングフィルター、下を調整するものをローシェルビングフィルターと呼びます。

※ AM502 は、2 バンド EQ を搭載しています。

FX センド (AM602FX/AM802) パン・レベル調整

FX

内部 **FX**、または外部エフェクター等へ送る信号量を調整します。外部機器からの信号は **AUX** リターン入力、またはチャンネル入力に戻します。各 **FX** センド信号はモノラルであり、**+15dB** までゲインコントロール可能です。ポストフェーダーに設定されており、そのセンドレベルは、フェーダーの位置に影響されません。

PAN

ステレオイメージにおける左右の定位を調整します。**PAN** コントロールは出力レベルには影響しません。

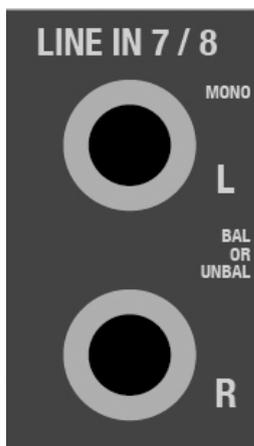
LEVEL

メインミックスに送られるチャンネル出力レベルを調整します。

CLIP LED

入力レベルが高すぎるとき点灯します。

ステレオチャンネル



LINE IN

ステレオチャンネルに LR 2 つのラインレベルに対応する TRS フォン入力があります。モノラルチャンネルとして使用する際は入力 L のみに接続します。両方の入力にはアンバランス TS フォンを使用することもできます。

EQ (AM602FX/AM802FX のみ)

ステレオチャンネルにも 3 バンド EQ を装備しています。フィルター特性とカットオフ周波数はモノラルチャンネル EQ と同じです。



FX センド、バランス、レベル調整



FX

ステレオチャンネルの FX センドとモノラルチャンネルの FX センドは、ほぼ同じ機能です。FX センドバスはモノラルのため、FX バスに信号を送る前に LR の信号はミックスされます。

BAL

バランスコントロールは、メイン・ミックスバスへ送られる前に、左右のレベルバランスを調整します。

LEVEL

メインミックスへ送るレベルを調整します。

コネクターパネル、メインセクション

FX センド、リターン (AM602FX/AM802FX)



STEREO AUX RETURN は FX SEND から外部エフェクター等に送った信号をミキサーへ戻す入力端子です。通常の入力端子としても使用可能です。

注意

STEREO AUX RETURN の左コネクターのみ使用すると、STEREO AUX RETURN はモノラルチャンネルになります。メインミックスに送る信号量は AUX RETURN ツマミで調整してください。

※エフェクトリターン入力としてステレオ入力チャンネルを使用する場合、フィードバックを防ぐため、FX SEND ツマミを下げてください。

AUX RETURN



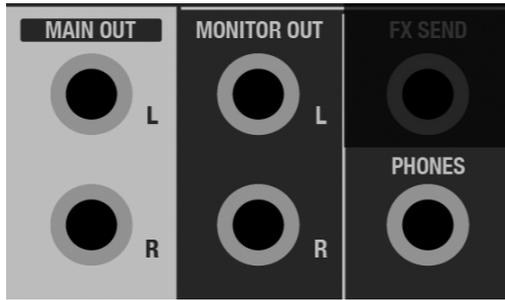
STEREO AUX RETURN に入力された信号レベルを調整します。

PHONES

ステレオヘッドホンを繋ぎます。

MONITOR OUT (TS フォン)

メインミックスと同様の信号を出力します。レベルは PHONES/MONITOR つまみで調整します。

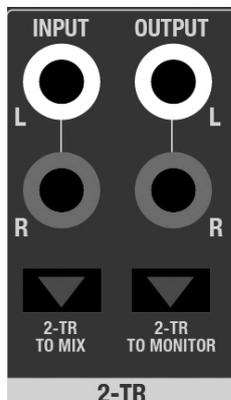


MAIN OUT (TS フォン)

メインミックス信号が出力されます。レベルはMAIN MIX ツマミで調整します。

2-TR INPUT (RCA)

CD プレーヤーやテープデッキなどを接続します。ステレオ・ライン入力としても使用可能です。



2-TR OUTPUT (RCA)

MAIN MIX と並列に接続されており、メインミックスと同様の信号を出力します。各種レコーディングデバイスに接続します。出力レベルは MAIN MIX つまみで調整します。

2-TR TO MIX

2トラック入力信号がメインミックス出力に割り当てられます。

2-TR TO MONITOR (502 は 2-TR TO PHONES)

2トラック入力信号がモニター出力に割り当てられます。テープからの信号をモニターすることができます。

注意

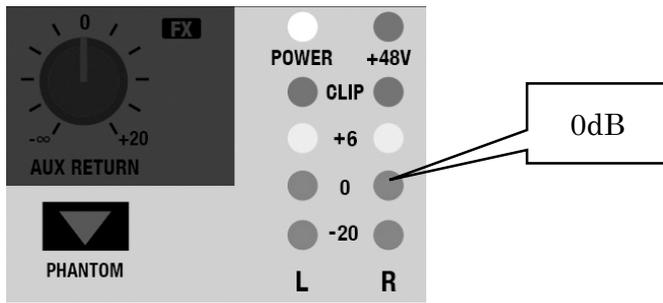
2-TR OUTPUT からの信号を録音しながら 2-TR INPUT の音をモニターしたいときは、2-TR TO MONITOR スイッチを押して、2-TR 入力の信号をモニターにルーティングしてください。フィードバックが起こりやすくなるため、2-TR TO MIX スイッチは OFF にしてください。

PHANTOM 電源

ファンタム電源を ON にすると+48V LED が点灯し、モノラルチャンネルの XLR 端子に+48V が供給されます。

注意

ファンタム電源が ON になっている状態で、マイクを接続しないでください。必ずマイクを繋ぎ、さらにモニター/PA スピーカーをミュートしてからファンタム電源を ON にしてください。ON にしてから約 1 分間、安定するまで待つようにしてください。



POWER LED

電源を ON にすると点灯します。

入力レベル表示 LED

入力レベルを4段階で表示します。正しく調整するには、最初に各入力の **LEVEL** コントロールつまみを中央の位置 (0dB) に合わせ、次に入力の **TRIM** コントロールつまみを回してレベル表示 LED の 0 が点灯するようにします。

※注意

本製品のピークメーター (CLIP) は、周波数領域とは無関係に表示します。レコーディングの歪みを抑えるには、音源の周波数領域にかかわらず、CLIP が点灯しないように調整してください。

エフェクト・プリセット

EFFECT PRESETS		
NO.	EFFECT	Description
HALL 00-09		
0	SMALL HALL 1	approx. 1.0s reverb decay
1	SMALL HALL 2	approx. 1.2s reverb decay
2	SMALL HALL 3	approx. 1.5s reverb decay
3	MID HALL 1	approx. 1.8s reverb decay
4	MID HALL 2	approx. 2.0s reverb decay
5	MID HALL 3	approx. 2.5s reverb decay
6	BIG HALL 1	approx. 2.8s reverb decay
7	BIG HALL 2	approx. 3.2s reverb decay
8	BIG HALL 3	approx. 4s reverb decay
9	CHURCH	approx. 7s reverb decay
ROOM 10-19		
10	SMALL ROOM 1	approx. 0.5s reverb decay
11	SMALL ROOM 2	approx. 0.8s reverb decay
12	SMALL ROOM 3	approx. 1.0s reverb decay
13	MID ROOM1	approx. 1.2s reverb decay
14	MID ROOM2	approx. 1.5s reverb decay
15	MID ROOM3	approx. 1.8s reverb decay
16	BIG ROOM 1	approx. 2.0s reverb decay
17	BIG ROOM 2	approx. 2.2s reverb decay
18	BIG ROOM 3	approx. 2.5s reverb decay
19	CHAPEL	approx. 3s reverb decay
PLATE 20-29		
20	SHORT PLATE	approx. 1.0s reverb decay
21	MID PLATE	approx. 1.5s reverb decay
22	LONG PLATE	approx. 2.2s reverb decay
23	VOCAL PLATE	approx. 1.2s reverb decay
24	DRUMS PLATE	approx. 1.0s reverb decay
25	GOLD PLATE 1	approx. 1.2s reverb decay
26	GOLD PLATE 2	approx. 2.0s reverb decay
27	SHORT SPRING	approx. 1.0s reverb decay
28	MID SPRING	approx. 2.0s reverb decay
29	LONG SPRING	approx. 2.5s reverb decay
GATED/REVERSE 30-39		
30	GATED REV SHORT	approx. 0.8s gate time
31	GATED REV MID	approx. 1.2s gate time
32	GATED REV LONG	approx. 2.0s gate time
33	GATED REV XXL	approx. 3.0s gate time
34	GATED REV DRUMS 1	approx. 0.8s gate time
35	GATED REV DRUMS 2	approx. 1.2s gate time
36	REVERSE SHORT	approx. 0.8s reverb raise
37	REVERSE MID	approx. 1.2s reverb raise
38	REVERSE LONG	approx. 2.0s reverb raise
39	REVERSE XXL	approx. 3.0s reverb raise
GATED/REVERSE 40-49		
40	EARLY REFLECTION 1	Short
41	EARLY REFLECTION 2	Medium-short
42	EARLY REFLECTION 3	Medium-long
43	EARLY REFLECTION 4	Long
44	SHIRT AMBIENCE	Short
45	MID AMBIENCE	Medium-short
46	LIVE AMBIENCE	Medium-short
47	BIG AMBIENCE	Medium-short
48	STADIUM	Long
49	GHOST AMBIENCE	Extra-long special FX
DELAY 50-59		
50	SHORT DELAY 1	Like a short shattering
51	SHORT DELAY 2	1-2 short impulse(s)
52	SHORT DELAY 3	1-2 short impulse(s)
53	MID DELAY 1	Classical Delay for up-tempo music(115-125 BPM)
54	MID DELAY 2	Classical Delay for up-tempo music(105-115 BPM)
55	MID DELAY 3	Classical Delay for up-tempo music(95-105 BPM)
56	LONG DELAY 1	Classical Delay for up-tempo music(85-95 BPM)
57	LONG DELAY 2	Classical Delay for up-tempo music(75-85 BPM)
58	LONG DELAY 3	Extra long(nearly infinite)delay effect
59	LONG ECHO	Extra long canyon echo effect
CHORUS 60-69		
60	SOFT CHORUS 1	Unobtrusive effect
61	SOFT CHORUS 2	Unobtrusive effect with different color
62	WARM CHORUS 1	Analog sounding
63	WARM CHORUS 2	Analog sounding with different color
64	PHAT CHORUS 1	pronounced chorus effect
65	PHAT CHORUS 2	pronounced chorus effect different color
66	CLASSIC FLANGER	Standard flanger effect
67	WARM FLANGER	More analog touch
68	DEEP FLANGER	Deep modulation impression
69	HEAVY FLANGER	Extremely pronounced effect
PHASE/PITCH 70-79		
70	CLASSIC PHASER	Standard phaser effect
71	WARM PHASER	More analog touch
72	DEEP PHASER	Deep modulation impression
73	HEAVY PHASER	Extreme strong effect
74	PITCH SHIFT DETUNE	2-3-time detune for a wider solo voice sound
75	PITCH SHIFT +3	Minor third added voice
76	PITCH SHIFT +4	Major third added voice
77	PITCH SHIFT +7	Quint above added voice
78	PITCH SHIFT -5	Fourth down added voice
79	PITCH SHIFT -12	1 octave down added voice
MULTI 1 80-89		
80	CHORUS + REVERB 1	Soft chorus + medium-short reverb
81	CHORUS + REVERB 2	Deep chorus + medium-long reverb
82	FLANGER + REVERB 1	Soft flanger + medium-short reverb
83	FLANGER + REVERB 2	Deep flanger + medium-long reverb
84	PHASER + REVERB 1	Soft phaser + medium-short reverb
85	PHASER + REVERB 2	Deep phaser + medium-long reverb
86	PITCH + REVERB 1	Soft voice detuning + medium-short reverb
87	PITCH + REVERB 2	Fourth above interval + medium-long reverb
88	DELAY + REVERB 1	Soft delay + medium-short reverb
89	DELAY + REVERB 2	medium-long delay + medium-long reverb
MULTI 2 90-99		
90	DELAY + GATED REV	Short delay + medium-long gated reverb
91	DELAY + REVERSE	medium-short delay + medium-long reverse reverb
92	DELAY + CHORUS 1	Short delay + soft chorus
93	DELAY + CHORUS 2	medium-long delay + deep chorus
94	DELAY + FLANGER 1	Short delay + soft flanger
95	DELAY + FLANGER 2	medium-long delay + deep flanger
96	DELAY + PHASER 1	Short delay + soft phaser
97	DELAY + PHASER 2	medium-long delay + deep phaser
98	DELAY +PITCH 1	Short delay + fourth down interval
99	DELAY +PITCH 2	medium-long delay + minor third above interval

接続

電源接続

背面パネルの **AC POWER IN**（電源コネクタ）に電源アダプターを接続し、もう一方をコンセントに接続します。電源アダプターは必ず付属のものをお使いください。



注意

電源プラグを繋ぐときは、必ず先に背面パネルの **AC POWER IN** 側を繋ぎ、その後でコンセントに接続してください。

音源の接続

音源の接続にはオーディオ・ケーブルを使用してください。

2トラック入出力には市販の **RCA** ケーブルを使用してください。

アンバランス機器もバランス入出力チャンネルに接続することができます。モノラルのケーブル、または **Ring** と **Sleeve** をブリッジしたケーブルを使用してください。

注意

ピン 1 と 3 をブリッジしたアンバランス仕様の **XLR** ケーブル・コネクタをマイクに使用しないでください。ファンタム電源を **ON** にしたとき、**GND** と **COLD** がショートしてマイク、機器、双方とも故障の原因となります。



※この取扱説明書に記載されている商品名、会社名などは、その会社の商標登録です。また、掲載されている図、写真などの著作権はその会社にあります。